

行政文書一部公開決定通知書

21 子子事第 10 号
平成 22 年 3 月 25 日名古屋市民オンブズマン
代表 倉橋 克実 様

実施機関

名古屋市長 河村 たかし



平成22年 3月11日付けで請求のあった行政文書の公開については、名古屋市情報公開条例第10条第 1項の規定により、次のとおりその一部を公開することと決定しましたので通知します。

行政文書の名称	名古屋市トワイライトスクール及び生涯学習開放運営主体 選定委員会（第1回）及び（第2回）		
行政文書の公開の日時 及び場所	日 時	平成22年3月26日午前10時20分 午後	
	場 所	市民情報センター（市役所西庁舎 1階）	
行政文書の公開の方法	1 閲覧 ② 写しの交付 3 視聴		
行政文書の一部を公開 しない理由	名古屋市情報公開条例第7条第1項第1号に該当 請求に係る行政文書に記載されている個人の職業につい ての情報は通常他人に知られたくないと認められるもの であるため。 名古屋市情報公開条例第7条第1項第2号に該当 請求に係る行政文書に記載されている応募法人の選定順 位にかかる情報及び応募団体の発言に係る情報は、それ を公にすることにより当該法人に不利益を与えると認め られるものであるため。 名古屋市情報公開条例第7条第1項第5号に該当 選定委員が非公開を前提に発言されたであろうことは、 非公開を前提に発言された内容を公開することにより、選 定委員との信頼関係を損ない、今後の事務の公正、適正な 遂行に支障を及ぼす恐れがあるため。		
備 考	<決定を行った所管課> 子ども青少年局子ども未来部子ども事業調整室（972-3229）		

1 この処分について不服があるときは、この処分があったことを知った日の翌日から起算して60日以内に、名古屋市長に対して異議申立てをすることができます。

2 この処分について不服があるときは、この処分があったことを知った日 (異議申立てをしたときは、決定の送達を受けた日) の翌日から起算して 6箇月以内に、名古屋市長を被告として (市長が被告の代表者となります。) 処分の取消しの訴え (取消訴訟) を提起することができます。なお、6箇月以内であっても、処分又は決定の日から 1 年を経過すると取消訴訟を提起することができなくなります。

注 1 行政文書の公開を受ける際には、この通知書を提示してください。
2 日時の変更、その他は市民情報センターへお問い合わせください。

TEL:052-972-3153 (直通) FAX:052-972-4127

**名古屋市トワイライトスクール及び生涯学習開放運営主体候補者選定委員会
(第1回)**

・平成 22 年 1 月 25 日(月)

・伏見ライフプラザ 消費生活センター第 2 研修室 13:00～13:20
 // 高年大学鯉城ホール 13:24～17:48

事務局	〔はじめに〕 名古屋市トワイライトスクール及び生涯学習開放運営主体候補者選定委員会を開催する。 (選定委員、事務局担当者の紹介)
事務局 委員	〔会長選任〕 会長の互選依頼。 松本委員を推薦。 (選定委員：同意)
会長	(これ以降の議事は松本会長が進行) 今回の公募には 7 団体が応募している。プレゼンテーション及びヒアリング審査は長時間となるがよろしくお願ひしたい。 トワイライトスクールは、全市で多くの子どもたちが参加する重要な事業。保護者やご協力いただいている地域の皆様にとっても大切な事業。運営主体の選定に当たっては、事業の趣旨を踏まえ、様々な角度から評価を進めていただき、公正かつ厳正な審査を。
会長	〔会議の公開・非公開について〕 会議の公開・非公開については、名古屋市情報公開条例第 36 条に定めがあるが、非公開情報が含まれる事項についての審議や、会議を公開することにより、当該会議の適正な運営に著しい支障が生ずると認められる場合は、非公開とすることができると規定されている。 本委員会の所掌事務から選定に関する議題については、この非公開の要件に該当すると思われるので、第 1 回、第 2 回とも非公開としたいが、いかがか。 (選定委員：了承)
会長	〔運営主体候補者選定基準について〕 運営主体候補者選定基準等について事務局より説明を。

事務局	(事業提案書類に同封して事前に送付した運営主体候補者選定基準(案)について説明。併せて、第2回選定委員会までの手続、トワイライトスクールに参加している児童の意見などについて説明)
会長	選定基準(案)については事前に送付した資料でご覧いただいているとおり。全体としては、提案された活動・取組の内容と、提案内容を実現するための運営スタッフ体制を重視した配点である。また、トワイライトスクールにおいては、子どもの安全、保護者の安心が不可欠であり、安定的な運営ができるかどうかという点にも留意した。各委員から事前にいただいたご意見も踏まえてまとめたが、ご意見があれば伺いたい。 (選定委員：了承)
会長	評価基準の候補者適格において「財政基盤が安定し、健全な運営が行われているか」という視点が入っている。これらを判断するために何か追加資料を応募団体から提出していただく必要があるか確認したい。 ■■■■■
委員	収支予算は提出されているが、これだけでは財政基盤の安定性は判断できない。資本金等は一応の拠り所になるが、株式会社やNPOなど応募団体の種別は様々であり、一律に比較することは難しい。可能であれば貸借対照表及び財産目録の提出をお願いしたい。
会長	事業者に貸借対照表と財産目録等の追加提出を依頼し、第2回で議論したい。 本日の審査はこの選定基準(案)のもとに進めていく。
会長	[学区部会の承認について] 学区部会は、本選定委員会設置要綱第9条に基づき本選定委員会において設けることができるとしている。2団体以上から応募のあった地域のうち、お手元の資料のとおり学区部会を設けたとのことであり、設置要綱第9条に基づく学区部会として認めたいが、いかがか。 (選定委員：了承)

会長	それでは、学区部会として認める。この後のプレゼンテーション及びヒアリング審査においても、学区部会の参加を認める。
会長	[プレゼンテーション及びヒアリング審査について] プレゼンテーション及びヒアリング審査の進行案について事務局から説明を。
事務局	本日の進行は、別紙スケジュールのとおり。ヒアリング審査は、学区部会からの参加がある応募団体については、選定委員による質疑の後、学区部会員の質疑を予定。
委員 会長	事務局は別に事業者ヒアリングを実施するか。 金額やローテーション等、事業者が錯誤していると思われる書類もあるため、事務的に確認作業は事務局で必要に応じて行う。選定委員会としてのヒアリングは本日のみ。
委員 会長	計算ミスなど提出書類の内容に何か所か気になる点がある。事業者が書類を修正した場合、次回までに示してほしい。 選定については、実績だけではなく、事業提案の内容などに基づき子どもの視点にたって検討し、公正に選定をお願いする。 プレゼンテーションでは、学区からの参加者にはできるだけ質問の時間を確保したいのでご協力を。 (5 階の鯉城ホールに降り、プレゼンテーション及びヒアリング審査会場に移る。)

<プレゼンテーション>

委員 事業者	介護サービスさくら 13:24～13:50 2人 ○プレゼンテーション(12分間) ・パワーポイントにより団体概要及びトワイライトスクールに関する提案内容の説明 ○質疑応答 学区行事との関連性で、調整方法は。 餅つき大会など、現在学区と共に行っている。今後は学校の中で行いたい。
委員 事業者	PR ポイントや大事だと思うものは何か。 新しい行事を積極的に取り入れたい。ちゃんばらや相撲など伝統的なものも。
委員 事業者 委員	トワイライトスクールの平日や土曜日などの参加人数は調べているか。 平均40人と聞いている。 新しいものを取り入れる場合、指導者の力量はどうか。研修が重要だと思うが。
事業者	新たな取り組みは危険な面もあるが、安全性については計画を十分立て、調べながら、走り過ぎず行っていく。
委員	スタッフの確保について。運営連絡会との調整がつかない場合は、運営指導者は160人のスタッフを活用するのか。
事業者	スタッフの中に、トワイライトスクールをやってきた人もいる。お子さんがトワイライトスクールにいた人や、APも7、8人いる。
委員	障害児への対応として、法人の障害支援施設と連携して支援するとの記述があるが、具体的にはどのようなことか。
事業者	障害者が法人の2か所のデイサービスで働いているが、社会で働くことは大切で、6ヶ所のデイサービスに派遣していきたい。 色々な人が混ざって地域は成り立っており、助け合い、支え合いが大切。社会学習として商店街、法人、デイサービスなどで受け入れているが、高齢者も児童も勉強になっている。
委員 事業者	障害児対応のノウハウもあり、個別の対応が可能である。 事業計画と保護者の意向の差の調整方法は。 たよりで広報。保護者の意向は尊重する。
	(株)ケイ・アカデミー 13:52～14:28 2人

委員	○プレゼンテーション(14 分間) ・ 団体概要及びトワイライトスクール・生涯学習開放に関する提案内容の説明
事業者	○質疑応答 英会話中心のようだが、その他の取組みは何かあるか。また、生涯学習開放に向けた取組みは。
委員	英語に偏っていると思われるが、子どもは遊びの中で学びを体験する。現在も、幼児から対応している。低学年は外国人との触れ合い、遊びを沢山用意しているので時間が足りないくらいである。小さい子はすぐに受け入れる。拒絶反応があるのは大人のほう。(当社は)放課後のプロであり、遊びのプログラムもたくさん用意している。
事業者	生涯学習開放は初めてであり、引継ぎをしっかりと受けて実施したい。非常勤の運営指導者の採用が積算に入っていないのではないかと。また地域との連携や交流についての思いを。 非常勤は 2,500 時間で見込むよう指示があったため、そのように算定してある。4 校は地盤を持った運営指導者を予定しており、コミュニティセンター等と連携していきたい。
委員	コミュニティセンターを立ち上げたときは地域と連携してきている。婦人会等からたくさんのアイデアが出たことなどを認識している。 英語が中心のようだが、トワイライトスクールには様々な子どもが集まる。英語に不安感のある子もいると思うが。
事業者	英語以外にも沢山の言葉があるが、小さい子どもはすぐ覚える。 遊びと学びは同じ。カルタも漢字や言語、ことわざの勉強につながる。語学は週 2 回。その他は地域との触れ合いなど従来の活動を尊重する。外国人もきちんとした人を入れる。
委員	スタッフは外国人のみか。また、5,000 円は妥当か。
事業者	他業者は 6,000 円から 7,000 円が多い。研修の積み重ねが必要で、何日もかける。日本人を入れるのが理想的。当初はバイリンガルな日本人と外国人を入れ、慣れたら外国人 1 人で。
委員	4 校の運営指導者の具体的な職歴は。
事業者	全て社会人の経験があり、学習塾で教えている人。12 月からこの話が出て、準備できたのが 4 人なので 4 校応募した。
委員	英語を含むプログラムは嫌いな人もいる。保護者のニーズとギャップがある場合はどうするのか。
事業者	英語は週 2 回。今までにプラスするのが英語。外国人は触媒となって、すごい力を発揮する。嫌いな子同士が仲良くなることもある。小さい

委員	子で泣く子もいるが、慣れれば大丈夫。嫌な子なら場所を分ける。徐々に慣らしていく。
事業者	日本人でも日本語がままならない中で、英語を学ぶことについて悩みはあるが、全体としてトワイライトスクールをどう考えているか。 言語習得には日本語は絶対必要である。学研で漢字学習もやっている。日本語を学ぶ過程で英語を学ぶことが大事であると考えている。
一般社団法人 地域社会活性化推進協議会 14:32~15:24 3人 学区部会員の参加:22人	
○プレゼンテーション(12分間)	
・パワーポイントにより団体概要及びトワイライトスクールに関する提案内容の説明	
○質疑応答	
委員	プレゼンテーション資料に「今後のビジョン。日本で一番元気のいい子どもたちがいるまち、ナゴヤ」とあるが、今の名古屋の子どもは元気のいい子ではないという認識か。
事業者	元気がないとは言っていない。
委員	今までトワイライトスクールに関わってきた実績は。
事業者	法人としては1月6日設立のため、実績はないが、個人としては10年間地域活動に参加してきた。メンバーもロータリークラブなどで活動している。
委員	地域に根ざした活動は。
事業者	昨年も16区で1校ずつ各学校での事業に参加。会員企業は200。20の企業で職業体験を受け入れたりなどもしている。
事業者	トワイライトスクールは良い事業であるという評価。さらに良いものにしたいので積極的に関わりたい。
委員	学区部会の持ち方については、行政としても限られた期間のなかで少しでも事業者の情報を学区に提供できるよう努力しているのでご理解いただきたい。事務局としても地域の声を大事にしていきたいと考えている。
事業者	1月に設立したということであるが、4月には事業がスタートする。時間がないなかで準備する必要があるが、現実的に、どのようにスタッフを確保していくのか。
	法人の運営方針を理解していただけるのであれば、基本的には今の組織を引き継ぐ予定。本部にも専任スタッフを2名配置する予定。

委員	の方のようだが、そこから引っ張ってくるのではと心配。保護者にとっては、常勤・非常勤のスタッフに区別はないので、全てのスタッフについて熱意のある方をお願いしたい。
事業者	たまたま だが、あくまで法人には個人として登録している。(仕様書で) 費用の使途は規制が厳しくしてあり、委託や派遣は禁止されている。自分も妻が PTA をやっており、トワイライトスクールはよそ者が急に來てやれる事業ではないことは認識している。
委員 事業者	応募が区ごとのようだが、理由は何か。 団体の持っている資格で無理なところを除いて全部応募したいと考えていたが、応募までの時間がないなかであったので、設立メンバーで話し合って会員の多くいる地域を中心に決めた。
委員 事業者	AP との関係について、協力を得られる確信は。 今の AP がいる前提で考えている。意向が合わず、AP がなくなった場合は、何とかする。
委員 事業者	現在のものについていくという考え方であると聞こえるが、法人として特徴的なところはどこか。提案書類にはあまりないようだが。 国際的活動を行っているような大学の学生などを参加させていきたい。熱意のある人を、現在とは違った視点からも参加させたい。子どももの自主性、社会性を育てることが大切な事業であるため、提出書類の中身は安心・安全性や情報管理に力点を置いている。
委員 事業者	学校とトワイライトスクールとの違いについてのイメージは。 放課後は自由な時間。自分たちは昔、外で遊んでいた。子どもをプログラムに当てはめるのではなく、自主性を支援したい。学業の場ではなく、健全育成の場として考えている。
学区部会員	(学区部会員からの質問) 学校の敷地内であるので、学校の協力が必要。学校としては安全管理が必要。学校教育とは違う認識だとできないが、学校との関係はどう考えているのか。
事業者	これまでも学校内での子どもたちに対する事業は経験をしている。わんぱく相撲も 16 区の小学校の体育館を使用して行った。その際も、教頭などと充分話し合ってすすめており、学校は無視できないことはよく分かっている。
学区部会員	早口の説明で十分聞き取れなかった。スライドの資料も、我々には配られていない。

事務局	資料は希望があれば配布する。 (※プレゼンテーション終了後、全参加学区に配布)
学区部会員 事業者	地域との関わりについて具体的な説明を。 学区のなかで区政、PTA、子ども会、婦人会などに詳しく説明していきたい。運営連絡会にも積極的に参画していく。私たちの組織のメンバーに民生委員などもあり人材バンクを持っているので、重層的に関わることができる。
学区部会員 事業者	熱意は伝わった。学び、遊び、交流、体験で何をどのようにするのか具体的に説明を。 基本的に今までの活動を踏襲し、新たなネットワークの中で大学生との交流などを加味していく。意見交換しながら、自由な発想を生かせるプログラムづくりを考えたい。
学区部会員 事業者	4月から事業が始まるが、そのような市とのコミュニケーションの状況で間に合うのか。 新しい試みでとまどっている。その中で最善のものを。色々な人に意見を聞く。
委員 事業者	法人の目的は壮大。今回生涯学習開放校を応募から外しているが、その目的を達成するためには、生涯学習開放は重要では。 今回のスケジュールでは生涯学習開放の応募に必要な資格が、期間までに取得できなかったため、応募できなかった。
委員 事業者	スタッフが多く必要だが、教員・保育士は資格のある者が準備できると考えてよいのか。準ずる者か。 基本的に教員のOB等免許がある者で114名確保できる。地域とのマッチングもあるが。
委員 事業者	体験講座100万円は何に使うのか。 月ごとにある季節の行事に充てる。夏休みは学校に詰めるのではなく、イベントにも参加したいと考えているので、参加費や企画費用に充てる。
財団法人名古屋市教育スポーツ振興事業団 15:26~16:14 3人 学区部会員の参加:22人 ○プレゼンテーション(14分間) ・パワーポイントにより団体概要及びトワイライトスクール・生涯学習開放に関する提案内容の説明 ○質疑応答	

委員	社会情勢が変化する中、長期休業中の子どもの過ごし方も変化しており、学習塾に行く子もいる。変化に応じた対応は考えているか。
事業者	17年度から学習習慣の定着のため、学びの時間を30分間、全校で実施している。長期休業中は1時間。高学年児童の参加は少ないため、運営指導者から積極的に声かけを行ったりしている。サッカーやドッジビーでの異学年交流が大切。
委員	これまでの活動を踏まえ22年度の改良点を具体的に。
事業者	今年度、所管が子ども青少年局に変わったこともあり、児童館のジュニアリーダーとの交流も詳しく打合せしながら実施している。ジュニアリーダーも手ごたえを感じたようで、他区にも広げたいと考えているようだ。
委員	課題は何か。
事業者	塾や習い事、子ども同士の交流で子どもは忙しい。塾から塾への送迎の商売もある。しかし便利になることが子どものためになるのか疑問。窮屈な中で成長していくこともある。
学区部会員	(学区部会員からの質問) 当学区では昨年トワイライトスクールができた。順調で感謝している。ハード面での新しい考え方は。
事業者	学校の中で行うトワイライトスクールであり、施設の面積は変えられない。新たなものとして、電子錠や照明等安全面で教育委員会に努力してもらってきた。
学区部会員	設備面を5年後はどうしたいなどの考えはあるのか。
事業者	パーティションなどでの区分けは努力していきたいと考えている。
学区部会員	トワイライトスクールができて10年たつが、当初に比べて本部からの訪問が減った。
事業者	最近立ち上げたところは頻繁に訪問している。順調なら1学期に1回程度訪問。話があれば行くし、運営連絡会には必ず出席している。
学区部会員	毎年このようなプレゼンがあるのか。
事務局	4年の契約を行うので毎年は実施しない。
学区部会員	他の事業者は人材豊富が魅力的だが実績がないのが不安。講座等新しいものを幅広く提案してもらえると。
事業者	様々なところから企画がくる。地域とのつながりが大事なため、押し付けはしない。大学の先生が1日講義するよりも地域の方と継続的な活動を行うほうが大事であると考えている。
学区部会員	電気の科学館の講座などはくじで何年かに1度しかない。もう少し機

事業者 学区部会員	会を増やしてほしい。 了解。 比較資料がない。判断しかねるので苦言を呈する。 他の事業者に比べ熱意ある様々なプログラムがある一方、膠着感を感じる。今回を機に、他と比べてうちはここが違うというところについてPRを。
事業者	今回の提案で目新しいものは特にない。案外知られていないが、要望を受けて随分変わってきた。名古屋市の特ライイトスクールは他都市の研究会でもうらやましがられるレベルにあると自負している。要望があれば改良していく。子どもにあった内容を地域の声を踏まえて実施していく。
学区部会員 事務局 学区部会員 事業者	予算の配分が最大の関心事。 募集要項に運営経費の参考額 7,465 千円を掲載した。 子育ての結果は短期間ではでない。長い目で見る必要がある。 名古屋方式。子どもは地域の中で、暖かな触れ合いの中で育てていきたい。
特定非営利活動法人 教育支援協会東海 16:29~16:52 1人	
	○プレゼンテーション(14 分間) ・パワーポイントにより団体概要及びトワイライトスクール・生涯学習開放に関する提案内容の説明
委員	○質疑応答 選択学習を月～金曜日に実施するとなっているが、2 グループに分けるのは施設面からすると難しいのではないかな。
事業者 委員	ハード的に困難なら難しいので、体験活動の一環として適宜実施する。 時間延長についての事業提案があるが、今回の公募の内容ではない。 予算上もみていないがよいかな。
事業者 委員	市と事前に相談する。長期休業中の 8 時からを考えているおり、月 1,000 円の受益者負担で、トータル人件費の中で実施したい。 選択学習、利用者負担を進めると考え方が変わってくる。表彰された理由は。
事業者	選択学習は何がなんでもやるというわけではない。要望があり、物理的に可能なときに実施。表彰理由は様々であるが、文部科学省からは利用者負担もワンコインは許容範囲と言われている。子ども手当の使い途として、民間塾に流れるより、NPOとの連携による放課後教室に流れることはニーズに合致していると言われている。詰め込み教育

委員 事業者	ではなく、交流しながら学習を行う。 応募法人としての目玉は何か。 国際交流、異文化理解の体験型英語活動が売り。 面白サイエンスは年 3 回。危険な薬品や器具を使わず、実験。環境問題を重点的に行いたい。
委員 事業者	特定非営利活動法人 まめっこ 16:56~17:23 3人 ○プレゼンテーション(12 分間) ・パワーポイントにより団体概要及びトワイライトスクールに関する提案内容の説明 ○質疑応答
委員 事業者	地域とのつながりを具体的に。 スポーツセンターでは託児者の養成研修、区社協には情報誌作成、市社協はボランティア活動の報告、ユースクエア、生涯学習センターでも講座で関わった。
委員 事業者	年間行事計画は実行可能か。 既に実施しているので可能である。
委員 事業者	地域協力員謝金で資料Ⅱ-6 の A と B の違いは。 資料の差し替えのミス。地域協力員のスキルのため最初は単価を 900 円としたが、全市で 1 校だけ単価が違うのは難しいということで 850 円に差し替えたつもりであったが、差し替えに漏れがあった。
委員 事業者	トワイライトスクールで子どもたちに何の力をつけさせたいのかがあまり見えてこない。 地域とのつながりの中でコミュニケーション能力をアップして、自己尊重感が高められればよい。この町に生まれてよかったと言うことを実感してほしい。
委員 事業者	保護者とのつながりはどうしていくのか。 お知らせの作成、意見箱の設置。
委員 事業者	運営指導者に法人の理事長を予定しているようだが、常勤として勤務することは可能か。
事業者 委員 事業者	応募にあたり、法人の理事会で議論し了解を取っている。 課題は何か。 学校や学校を取り巻く地域との関係が薄かったので、密に話し合っていきたい。
	特定非営利活動法人 こども NPO 17:25~17:48 3人

委員 事業者	○プレゼンテーション(12 分間) ・パワーポイントにより団体概要及びトワイライトスクールに関する提案内容の説明 年間行事計画の空欄のところの考え方は。 子どものやりたい気持ちを大切にしたい。事業に取り組む中で出てきた声をもとに考えたいので、最小限にとどめた。掲載したものも、子ども自身に考えさせていく。
委員 事業者	指導者にかなりの力量が必要。年 1 回の研修では育たないと思うが。地域と連携してきた実績があるので、地域の人との協力と NPO の力をあわせるスキルは既に持っている。子ども NPO は子どもの参画がテーマであり、ファシリテーションスキルは他の NPO よりも優れていると自負している。法人研修は 1 年に 1 回とあるが、1 回の中身が 3 回ある。
委員 事業者	改良点はあるか。 トワイライトスクールには色々な立場の子が参加している。大人が何かをしてあげるよりも、子どもが居たいと思えるような場にしたい。子どもの自発的参加や活動を発展させたい。
委員 事業者	学び部分について具体的な記述がないが、何か具体的なプランは。いわゆる学習よりも、生きる力を得るための学びに重点を置きたい。子どもは遊びから育まれる。勉学としては宿題を行う。勉強についていけない子どもなどは、個々に即して実施する。
委員 事業者	非常に計画的な面が目立つが、トワイライトスクールは参加時間も様々である。幅広い子どもの受け入れ対応は可能か。 当 NPO が関わっている児童館にも色々な子どもが来る。何の目的もなく来る子もいるが、話をされていて子どものなかに眠っている力に気がつくことがある。子どもとの会話の中で子どもの心に気付くことのできる専門性を持っている大人が関わる。

- ・平成 22 年 2 月 13 日 (土) 14:30~17:00
- ・鶴舞中央図書館会議室

1

委員	1校だけ応募している団体と、多数の学校に応募している団体をどう評価するかが難しかったが、地域の意見が反映できることも考慮して評価した。現在の運営団体も幅広く時代に合わせ進化してほしいと思う。
委員	新たな応募団体はいろいろな計画を持っており、従来にない取組みが期待できる。現状に不満を持っている学区もあると思うので、現在の運営団体も新たな取組みを行っていく必要がある。
委員	提案書類やプレゼンテーションでは全体としてよい内容が多く、現在の運営団体が有利だとは思わない。ただ、4年間の運営ということを考慮する必要もある。学校ごとに事情は異なるので、特定の1校だけということならよいが、一気に100校以上も本当に運営できるのか、地域性を考えられるのかが心配である。
委員	公募のそもそもの趣旨は民間活力の導入であると思うが、選択肢が少なかった。市が指導監督しながら、一度新たな団体に運営してもらえば競争性が出てよいのではないかとも思うが、一方で地域によって差がでることにより、参加する子どもたちが混乱しないかという心配もある。
委員	民間と公の役割を考える必要はある。子どもにとっては待ったなしであり、子どもが犠牲になってはいけない。審査を通してNPOも頑張っているということが伝わった。この事業は地域と連携できなければうまくいかないが、地域に根ざした活動団体なら、地域の理解や合意があれば運営主体としてやってもらえばよい。
委員	1校のみの応募と全校の応募があるなかで、団体として評価するのは難しい。1校のみであれば地域に根ざした活動がしっかりできる団体もあると思うが、団体のトータルの力として評価すると差がでてしまう。
会長	トワイライトスクールの公募についてどのような評価手法が良いかは、事業のあり方も含め今後も検討が必要であると考えている。
会長	[第2次評定について] 今回、複数の団体から応募のあった学校は125校である。各学区部会から提出された意見表明はご覧の資料のとおり。
事務局	この件について事務局から説明をお願いしたい。 (市の決定に一任するという学区が1学区、その他の124学区は、財団法人名古屋市教育スポーツ事業団を運営主体の候補者として相応しいと意見表明した旨報告。)

会長	(選定委員：学区部会意見書を確認) 市の決定に一任するという 1 学区については、意見表明なしとみなし加点しないということによいか。
会長	(選定委員：了承) 意見表明の理由には様々なものがあり、トワイライトスクールにおける実績などに触れている学区もある。その取扱いについても検討が必要。
委員	一番素直な「安定」という理由などをどうみるかであるが、意見表明には地域や保護者のいろいろな意見が集約されている。意見表明がまとまるまでには、学区でさまざまな議論がなされていると考える。 学区として実績がない団体を心配するのは当然であるが、意見表明にあたってはきちんと比較はしているはず。各学区部会の意見表明は同じように評価すべきである。 学区部会として提出された結果は尊重すべき。文言の書きぶりで判断するのはよくない。 それでは、選定基準に基づき、124 学区の加算点は同じ取扱いとすることによいか。 (選定委員：了承) (応募校毎に採点、集計) [最終評定について] (評価集計結果をスクリーン表示)
委員	
委員	
委員	
会長	
会長	複数応募団体が競合した 125 校については、運営主体の候補者の優先順位を付けるが、XXXXXXXXXX は合計点が最低基準の 5 割未満なので候補者の順位付けを行わないということによいか。 (選定委員：了承) (応募校毎運営主体候補者優先順位表 配布)
会長	選定結果としては、財団法人名古屋市教育スポーツ事業団が全

	トワイライトスクールで第1順位となった。第2順位以下はご覧のとおり。 (選定委員：了承)
会長	下位の2団体以外は、学区部会の意見如何によっては逆転の可能性があった。 最後に、選定された財団法人名古屋市教育スポーツ事業団と、その他の応募団体に対する選定委員会としての意見をまとめたい。事務局から説明をお願いする。
事務局	(各選定委員の応募団体に対するコメントメモを取りまとめた「名古屋市トワイライトスクール及び生涯学習開放運営主体応募団体に係る選定委員会の意見」(別紙)を配布し説明)
会長	各選定委員からいただいた意見を取りまとめたが、内容はよいか。 (選定委員：了承)
会長	選定結果については、速やかに市に報告する。 選定委員会は、以上をもって終了する。

(別紙)

名古屋市トワイライトスクール及び生涯学習開放運営主体応募団体に係る選定委員会の意見

○ 株式会社 ケイ・アカデミー

外国人スタッフ、講師による活動が特色であり、新たな事業展開が期待できるが、外国語（英語）教育等に重点を置き過ぎている。その他の取組みについては、全般的に提案内容の具体性が不足し、保護者の理解を得て、地域と連携しながら、幅広い子どもたちを受入れて活動していくという、バランスのとれた事業展開をなし得るかという点で不安がある。

○ 財団法人 名古屋市教育スポーツ振興事業団

地域と一体となった取組みが詳細に計画されているほか、安全管理体制や環境への配慮の方策なども含め、全般的にきめ細かく、まとまりのある提案がなされており、地域の信頼を得て、保護者にとっても安心のできる、安定した取組みが期待できる。付言すれば、今後の新たな事業展開やビジョンの提示という観点で更に充実した提案が望まれる。

○ 特定非営利活動法人 子どもNPO

応募地域等で長年児童を対象とした活動を続けていることから、地域の実情もよく把握しており、子どもの自主性を重視するという方針のもと、地域に密着した特色のある活動が期待できる。一方で、学びの活動や安全管理体制などについては、もう少し具体的な提案が望まれる。

○ 特定非営利活動法人 教育支援協会東海

事業内容をよく理解しており、提案内容は詳細かつ具体的で説得力がある。国際交流による体験型英語学習や有料の選択学習など、新たな取組みの提案については、実現に向けた調整や検討を要するものの、事業の発展性という観点での期待感はある。一方で、地域との連携という観点では、地域の状況に応じた取組みなどについてより具体的な提案が望まれる。

○ 一般社団法人 地域社会活性化推進協議会

基本理念や運営方針については、ポイントを押さえ、豊富なネットワークを活用した、多彩な体験活動の展開という観点での期待感はある。一方で、運営スタッフの確保を含め提案した内容の実現や、円滑な事業運営を行うことができるか不安な面がある。

○ 特定非営利活動法人 介護サービスさくら

児童福祉や介護に関する活動を続けてきており、障害児への対応については新たな

取組みが期待できる。一方で、提案内容の具体性がやや不十分であり、保護者の理解を得て、地域と連携しながら、幅広い子どもたちを受入れて活動していくという、バランスのとれた事業展開をなし得るかという点で不安な面がある。

○ 特定非営利活動法人 子育て支援のNPOまめっこ

子育て支援など、長年応募地域に根差した活動が続けてきており、地域の実情をよく把握しており、地域資源を活かした事業運営が期待できる。一方で、具体的な活動についての提案などがやや不十分であり、幅広い子どもたちを受入れて活動していくというバランスのとれた事業展開という点で不安な面がある。